



リスクマネジメント

リスクマネジメント体制及び近年の実績

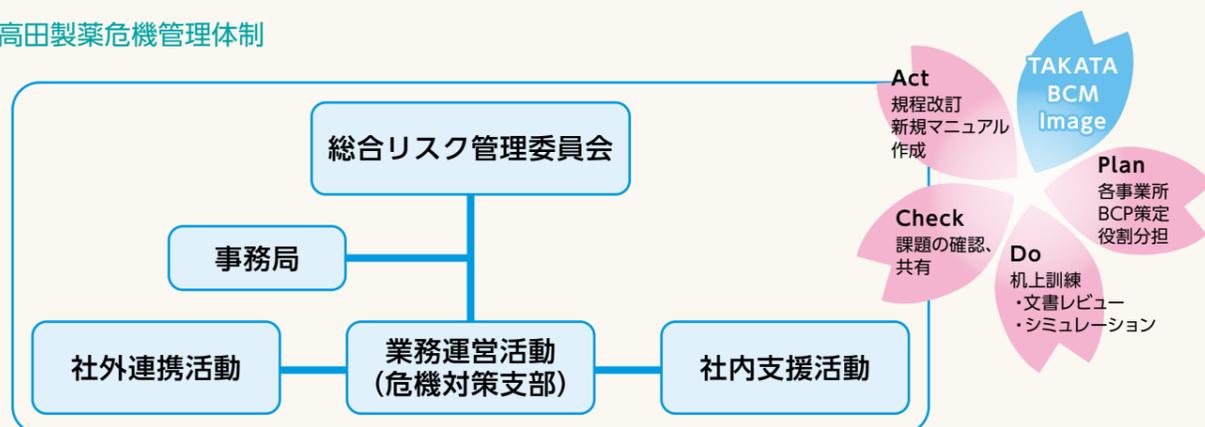
当社は担当役員（コーポレート本部長）を委員長とする総合リスク管理委員会を設置し、リスク管理に関する事項を審議し、リスクを事前に察知して発生時の影響を最小限にとどめるための施策の決定および実施を行っています。事務局が中心となって全社的なリスクを回避するための防止訓練および教育等を行い、重要事項について委員長に報告するとともに、各種委員会と連携して、テーマ毎のリスクマネジメントを推進しています。また、コンプライアンス・リスクマネジメントの一層の推進を図るため、全役員・従業員（出向者・派遣社員を含む）を対象としたコンプライアンス意識調査を実施し、その結果分析を踏まえたコンプライアンス研修計画を立て、階層別に適したコンプライアンス研修を開催しています。

BCP^{*1}の策定、BCM^{*2}の推進

近年、地震、台風などの不測の事態や情報システムへの不正アクセスやウイルス感染が頻発し、重要な事業が停止する可能性が極めて高くなっております。当社は患者様の日常生活で欠かせない存在となっているジェネリック医薬品の製造という社会的使命を全うするべく、BCP基本計画に準じ、災害に対するリスク低減対策の実施、事業継続の方策検討、BCPの見直しなど、BCMを推進してまいります。

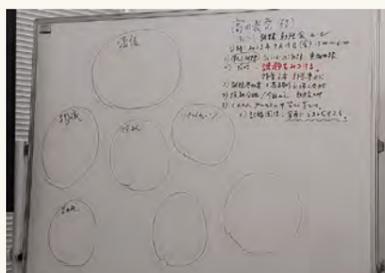
- *1 BCP(Business Continuity Plan：事業継続計画)
不測の事態発生時においても、事業を継続させる、または停止した場合でも必要な事業内に復旧・再開させるために行うべき行動、手順、関連帳票やチェックリストなどを定めた計画書
- *2 BCM(Business Continuity Management：事業継続管理)
BCPを継続的に運用し、維持・改善していくためにPDCAサイクルに基づいて、平常時に行うべき活動や管理をしていく組織的な仕組み

高田製薬危機管理体制



模擬訓練の実施

当社EHSアドバイザーを講師に迎え、一部の部署で巨大地震を想定した模擬訓練を実施いたしました。現在のBCPを基に想定シナリオにおける対応事項の確認や被害予測、各事業所や会社全体で課題となる事項を抽出しました。抽出した課題毎にリスク低減対策を検討し、現在BCPの見直しや必要なマニュアルの作成を進めております。今後は、会社全体での模擬訓練の実施や、サプライチェーンにもご協力いただくなど、引き続きBCMを推進してまいります。



BCPに関する教育・啓蒙活動

BCP対策では従業員全員の心構えや理解度が重要と考えています。当社では、2022年2月より本部長、部長を対象に全7回のBCP・BCM教育をe-ラーニングシステムにて実施し、その後全従業員を対象を拡大し周知徹底を図っております。訓練、課題の抽出、改善を繰り返すことで、災害等が発生しても医薬品の安定供給が出来るよう取り組んでおります。

防災への取り組み

避難訓練、消火訓練

災害時の初動対応の重要性を考え、安否確認訓練や各事業所による避難訓練等定期的に防災訓練を実施しております。平時より防災訓練を行うことで、事業や企業資産、従業員への損害を最小限化するように努めています。



安否確認訓練

災害発生時の従業員の安否確認を効率的に行うため、「安否確認システム」を導入しています。大きな組織変更や、新入社員入社後等に全従業員向けの訓練を行い、操作方法の習熟や意識の向上に努めています。

災害発生時の備え

巨大地震等の災害への備えとして、各事業所にて避難訓練や消火訓練の実施、AEDの使用訓練などを行っています。また、帰宅困難者の発生を想定し、非常用食料と飲料水を3日分、その他ラジオ、防寒対策用毛布などの災害用備蓄品を準備しています。外勤者には社有車へ災害用キットを常備しています。



情報セキュリティ

セキュリティ攻撃（情報システム・ネットワークに対する、不正アクセス・破壊・改ざんなど）による被害を防ぎ、情報システム・ネットワークに必要なときにいつでもアクセスでき、システム・データを利用できる環境を守り、正常な業務の遂行のため、各種取り組みを行っています。

- ・セキュリティ攻撃に対するセキュリティ製品の導入、最新パッチ適用、監視、定期的な設定変更
- ・情報セキュリティポリシー、ITスタンダード、36文書の内規策定、全社周知、定期的な見直し
- ・IT-BCP対策としての文書作成、データセンター利用、クラウド利用
- ・全従業員に対してのeラーニングでの教育実施、他社事案発生時などの掲示板での注意喚起など